

農薬や化学肥料を原則使用せずに(※)栽培したトマトといちじくの加工品製造販売



トマト生産責任者の高畠俊彦さん
全国のトマト農家を視察しノウハウを蓄積

き っ か け

◆当法人の介護施設等を利用するお客様に「本当に良い食品を届けたい」という思いから農薬や化学肥料を原則使用しない(※)農業を開始。トマト、いちじく、たまねぎ、葉物野菜等、施設からの要望に応じて多品目の農産物を栽培している。

◆規格外品のトマトやいちじくを廃棄せずに何とか活用したいと考え、セミドライトマトとセミドライいちじくの製造販売を行っている。

(※) やむを得ない場合に限り、有機農産物の日本農林規格別表2に掲げる農薬を使用。

あかね農園（社会福祉法人あかね）

◆所在地
兵庫県姫路市

◆お話を伺った方
トマト生産責任者
高畠俊彦

◆取組内容
・農薬や化学肥料を原則使用せずに(※)栽培した農産物を、当法人が運営する介護施設等に提供
・トマトといちじくを使った加工品の製造販売

取 組 内 容

◆あかね農園の主力はトマトである。甘味と酸味のバランスが取れたトマトを栽培するために、極限まで水やりを制限し負荷をかけている。「フルーツ感覚で何もつけずに食べて」とトマト生産責任者の高畠さんは語る。

◆セミドライトマトやセミドライいちじくは、健康志向の方や料理好きな方をターゲットと考え、レシピを配布するなど販売方法を工夫することにより、リピーターの獲得につながっている。

◆農園が運営する直売所で、農産物と加工品を販売している。お客様のニーズに応えるため、商品の写真や取扱状況をInstagramで発信している。



(左から) セミドライトマトとセミドライいちじく (画像提供: あかね農園)

今 後 の 展 望

◆病害虫の対策や温度・湿度の管理に気を配り、収量と品質を向上させたい。

◆セミドライトマトとセミドライいちじくの販路を拡大し、もっとたくさんのお客様に食べていただきたい。

2023年10月23日調査



丹精を込めて栽培したトマト (右画像提供: あかね農園)



綺麗に飾り付けられた農園の直売所